ホームステイをしながら　バリ・ヒンドゥー教の新年を一緒にお祝いしよう！

BALI 農村で ニュピ体験

2018 3/14-17 を含む 1 週間

インドネシアを長年研究している倉沢愛子（慶應義塾大学経済学部名誉教授）が現地で自らアテンド
事前研修もあり「学び」の多い体験です

【申込〆切】一次：2/1(以降は要相談)
最終：2 月末

［プログラム概要］

インドネシア・バリ西部ジュンブラナ県プンゲラゴアン村にホームステイしながら、バリ・ヒンズゥー教のニュピを祝う宗教行事への参加をとおし、現地生活の様子を内側から体験しませんか？「ニュピ」とはヒンドゥー教のサカ暦の新年で、この日は「悪霊が去るのを瞑想して待つ静寂の日」として一切の外出と電気や火の使用を許されません。ニュピ当日に先立ってムラスティやオゴオゴなど一連の儀式が行われます。
観光化されていないバリの農村で、
バリ・ヒンドゥー教徒の人たちと共に、
ニュピ一連の儀式を「内側から」
体験できるめったにない貴重な機会です。

［プログラム日程例］

3/12-13　デンパサール国際空港集合
3/14　ムラスティ儀礼見学 ※[1]
3/15　ムラスティ儀礼見学 ※[1]
3/16　オゴオゴ見学
3/17　ニュピ体験
3/18　村の学校見学（追加オプション）
3/19　バリダンス体験、伝統楽器ガムラン体験（追加オプション）

※[1] 直前の決定により変動可能性有り
※　3/14-17 以外は追加オプションもしくは自由行動
※　その他追加オプション：料理教室、バリマッサージ、など
※　3/18 以降解散日は相談可（3/18-20）（追加料金は要相談）
※　3/18 以降、ジャカルタの低所得者居住区での研修(4 日間)を追加することも可能です。ご希望の場合ご相談ください
※　ホームステイ先は基本シャワーが無く水浴びとなります（場合によりヴィラでのシャワー利用可（要相談））

［実施時期］

2018/ 3/14-17 を含む 1 週間（6 泊 7 日）
※滞在日数は変更可能（要相談）
※デンパサール国際空港集合・解散
※2 月上旬に都内で事前研修有り（参加自由）
※今期以外でも通年研修プログラムを実施

［費用］

5 万円　（航空運賃(国内移動含む)を除く）
※費用に含まれるもの：
　現地宿泊、食事、通訳、村-空港間の移動費、
　現地滞在中の行事参加のための交通費、
　事前研修費（交通費等は自己負担）、等
※オプション追加の場合は追加費用（数千円/回）

［申込〆切］

一次：2018/2/1(以降は要相談)
最終：2018/2/28

［問い合わせ・お申込み］

https://goo.gl/forms/K2GFHjqtDCSgKwPu1
倉沢愛子（慶應義塾大学経済学部名誉教授）